

令和 6 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	A事業所のみを有する特定事業者
II 類	B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名			日本製紙株式会社		
所在地			東京都北区王子一丁目4番1号		
事業者番号			8015		
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)			80,574		kL／年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所)					㎡
産業分類名 (中分類)			14 パルプ・紙・紙加工品製造業		
分類番号 (中分類)			14		
事業活動の 概要	事業内容		事業内容：紙、紙パック、ケミカル、エネルギーアグリ、セルロースナノファイバー、木材・建材		
	区分		企業		
	前年度	資本金	104,873		百万円
		従業員数	15,557		人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)					

（3）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	021201	日本製紙株式会社 草加工場	80,574
合 計			80,574

（4）公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	https://www.nipponpapergroup.com/about/branch/factory/npi/soka/index.html
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能 時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能 時間 2	
	その他		

（5）公表の担当部署

名 称 (複数可)		連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	安全環境管理室	048-931-9579	
2			
3			

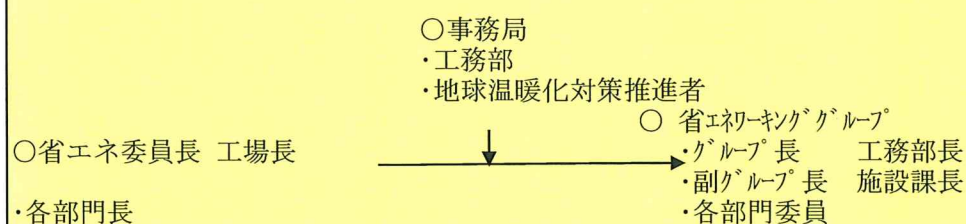
※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

- 1 古紙の利用促進など限られた資源の有効使用を推進します。
- 2 企業活動に伴って発生する廃棄物を管理し削減に努めます。
- 3 廃棄物の有効利用について検討を推進します。
- 4 環境と調和する製造技術及び製品・サービスの研究開発を行います。
- 5 地球温暖化防止対策を進め、取組み内容は積極的に公開します。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

省エネ委員会を活用し、事務局は工務部と地球温暖化対策推進者で構成する。



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	122,070	124,810	120,856	120,842	
そ の 他 ガ ス	17,904	20,020	20,171	18,054	
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	139,974	144,830	141,027	138,896	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	草加工場
	推進者職名	工場長代理兼安全環境管理室 室長
	推進者氏名	石井 利和
推進者 連絡先 (複数選任し ている場合)	推進者所属部署	
	推進者職名	
	推進者氏名	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者所属事業者名	日本製紙株式会社
	担当者所属部署	安全環境管理室
	担当者職名	主査
	担当者氏名	佐藤 修一
	郵便番号	3400013
	所在地	埼玉県草加市松江4丁目3番39号
	電話番号	048-931-9579
	FAX番号	048-935-8247
	E-mailアドレス	s.sato@nipponpapergroup.com

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者所属事業者名	日本製紙株式会社
	担当者所属部署	安全環境管理室
	担当者職名	主査
	担当者氏名	佐藤 修一
	郵便番号	3400013
	所在地	埼玉県草加市松江4丁目3番39号
	電話番号	048-931-9579
	FAX番号	048-935-8247
	E-mailアドレス	s.sato@nipponpapergroup.com

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

令和 6 年度

事業者番号	8015	事業所番号	021201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度（年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度）連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所（他の事業所の一部（区分所有部分、テナント部分等）である事業所は除く）
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	日本製紙株式会社 草加工場		
事業所所在地	市区町村	草加市	
	字・地番	松江四丁目3番39号	
産業分類名（中分類）	14 パルプ・紙・紙加工品製造業		
分類番号（中分類）	14		
事業活動の概要	事業内容	段ボール原紙、板紙製造工場。	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）	第3計画期間では平均で基準排出量の20%に相当する、43,943t/年の二酸化炭素排出量削減を目指します。				
	その他ガス	その他ガスについても、基準年（H16～H18年度）の年間排出量を維持し、エネルギー起源CO ₂ との合計で、埼玉県温室効果ガス削減目標の20%達成を目指します。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量（計画期間合計）	878,864	t-CO ₂			
	削減目標量（計画期間合計）	219,716	t-CO ₂	事業所区分	第2区分	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ （必須）					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	84,048	84,773	82,591	80,574	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	122,070	124,810	120,856	120,842	
前 年 度 比（％）	—	2.2	-3.2	0.0	
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源CO ₂	17,904	20,020	20,171	18,054
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ふ っ 化 い お う				
	三 ふ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	139,974	144,830	141,027	138,896	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.3837	0.3735	0.3716	0.3617	
前 年 度 比（％）	—	-2.7	-0.5	-2.7	
活 動 規 模 の 指 標 単 位					
生産量	t/年	318,151.00	334,175.00	325,226.00	334,140.17

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
令和2年度は令和元年度と比較してエネルギー起源CO ₂ 、非エネルギー起源CO ₂ ともに減少している。これは生産量が前年度より減少したためエネルギー使用量が減少したためと思われる。毎月の省エネ委員会にて、省エネ効果の確認と新規省エネ案件の発掘を行い生産工程の安定操業によりCO ₂ 排出量抑制に継続して取り組んでいる。						
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
令和3年度は令和2年度と比較してエネルギー起源CO ₂ 、非エネルギー起源CO ₂ ともに増加している。これは生産量が前年度より増加したことが原因と思われるが、蒸気漏れトラップの更新やガスタービン運転方法の見直し等のCO ₂ 排出量抑制に継続的に取り組んだ結果、生産量あたりのエネルギー起源CO ₂ 排出量原単位は減少した。						
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
令和4年度は前年度と比較してエネルギー起源CO ₂ は減少、非エネルギー起源CO ₂ は特に変わらない。エネルギー起源CO ₂ の減少は生産量の減少に加え省エネルギー対策工事に取り組みCO ₂ 削減に対し努力した結果と思われます。						
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
令和5年度は前年度と比較してエネルギー起源CO ₂ は横ばい、非エネルギー起源CO ₂ は減少となった。エネルギー起源CO ₂ に関しては、省エネルギー対策工事に取り組み生産量増に対してCO ₂ 削減に努力した結果と思われます。						
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	219,716	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO₂）

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	219,716	219,716	219,716	219,716	219,716	1,098,580
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						878,864
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						219,716
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	122,070	124,810	120,856	120,842		488,578
	削減率 (F = (A - E) / A)	44.44%	43.19%	44.99%	45.00%		—
	排出削減量 (G = A - E)	97,646	94,906	98,860	98,874		390,286
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)	
	区 番	分 号	区 分 名 称					
			大 区 分					中 区 分
1	370700		電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	2調成WPⅡシクナー chests アジター間欠運転 による省電力	R5	R5	52.3
2	320300		ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_放射・伝熱等によ る熱の損失の防止に 関する措置	2M/Cトライヤ蒸気供給配管保温による省蒸 気	R5	R5	135.9
3	320300		ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_放射・伝熱等によ る熱の損失の防止に 関する措置	4M/Cトライヤ蒸気供給配管保温による省蒸 気	R5	R5	129.4
4	310400		一般管理事 項	31_エネルギー使用 量の管理	2M/C2群アウトローロードターボ飛ばし用省エネ ストル取付による省電力	R5	R5	42.4
5	310400		一般管理事 項	31_エネルギー使用 量の管理	4M/C1群結露パージ用エアストル取付による 省電力	R5	R5	154.4
6	310400		一般管理事 項	31_エネルギー使用 量の管理	パルパ-建屋水銀灯及び照明LED化による 省電力	R5	R5	68.1
7	310500		一般管理事 項	31_生産工程のエネ ルギー管理	2M/Cピックアップ ルーツ停止による省電力	R5	R5	112.3
8	310500		一般管理事 項	31_生産工程のエネ ルギー管理	2M/C NCNリール水分設定変更による省蒸気	R5	R5	191.3
9	310500		一般管理事 項	31_生産工程のエネ ルギー管理	4M/C NCNリール水分設定変更による省蒸気	R5	R5	110.6
10	310400		一般管理事 項	31_エネルギー使用 量の管理	4M/C No.3トライヤ冷却ファン停止による省電 力	R5	R5	56.1
11								
12								
13								
14								
15								